

【アクレックス】環境対応型
Aqurex 水系

屋内木部用

WASHIN CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.

Washin

AQRX No.3560 F☆☆☆☆登録番号: W 01334

イ-VOC 0.3%未満

カウンター用

水系にして強靭！
カウンター・テーブルトップに特化した！
水系2液型ウレタン塗料。

2液クリヤー

AQRX No.3562 F☆☆☆☆登録番号: W 01335

2液ラップ半ツヤ

AQRX No.3565 F☆☆☆☆登録番号: W 01336

2液フラット

主剤 : 専用硬化剤
10 : 1 (重量比)

F☆☆☆☆！トルエン・キシレン含まず！無鉛！低臭！



【荷姿：主剤4kg 専用硬化剤0.4kg】



子供が利用する施設・住宅等の屋内居室に於いても安全安心！

F☆☆☆☆

■国土交通省の定める、シックハウス対策の改正建築基準法に適合した、
ホルムアルデヒド放散規制対象外【F☆☆☆☆】登録商品です。
屋内居室に於いて安心して制限なくお使い頂けます。



■厚生労働省の策定する、屋内空気汚染に係わるガイドライン及び、
文部科学省の学校環境衛生の基準に適合し、有害化学物質として
指定されたトルエン・キシレン等の13物質を含有しません。
また、鉛を含まないので、東京都環境局の策定する
子どもガイドラインにも適合します。

■塗膜が食品衛生法に適合する商品です。

Aqurex 環境対応型水系塗料 [アクレックス]

屋内木部用

水系2液ウレタン塗料

T-VOC0.3%未満

カウンター用

AQRX No.3560

2液クリヤー

F☆☆☆☆登録番号：W01334

AQRX No.3562

2液ラッキヤ

F☆☆☆☆登録番号：W01335

AQRX No.3565

2液フラット

F☆☆☆☆登録番号：W01336

主剤：専用硬化剤
10：1(重量比)

用途

インテリア木部のカウンター＆テーブルトップを護る！

アクレックス カウンター用 2液は、カウンター・テーブルトップ用途に特化した水系ウレタンです。



特長

カウンターも水系塗料で心配なく塗装できる！

- ◆アクレックスカウンター用 2液は、強靭な塗膜を形成するT-VOC0.3%未満の環境対応型水系2液型ウレタン塗料です。
- ◆溶剤系ウレタンに匹敵する優れた塗膜性能と耐久性を持ち、過酷な条件で知られるカウンターおよびテーブルトップに最適です。

安全性

F☆☆☆☆！トルエン・キシレン含まず！無鉛！低臭！

- 国土交通省『改正建築基準法(平成15年7月施行)』に適合
 - 厚生労働省『屋内空気汚染に係わるガイドライン』に適合
 - 文部科学省『学校環境衛生の基準』に適合
 - 食品衛生法に適合(昭和57年厚生省告示第20号基準)



塗裝工程例

水系だから臭いが少なく作業も快適！安全安心！

工 程	使 用 塗 料	塗 布 量	乾燥時間	備 考
▼ 1 素地調整	サンドペーパーで研磨			P150を使用
▼ 2 下 塗 り	アクレックスカウンター用2液(各艶)を塗布	80~100 g /m ²	4時間以上/20℃	ハケ塗り
▼ 3 研 磨	サンドペーパーでケバ取り研磨			P320を使用
▼ 4 中 塗 り	アクレックスカウンター用2液(各艶)を塗布	80~100 g /m ²	4時間以上/20℃	ハケ塗り
▼ 5 研 磨	サンドペーパーで研磨			P320を使用
▼ 6 上 塗 り	アクレックスカウンター用2液(各艶)を塗布	80~100 g /m ²	一夜放置/20℃	ハケ塗り

※主剤に専用硬化剤を添加し(主剤:専用硬化剤=10:1重量比)、よく振って均一に混ぜ合せた後、15分程度放置して泡を抜いてから塗装作業を行って下さい。
※主剤と専用硬化剤混合後の使用可能時間は約3時間(20℃)です。必ず可使用時間内に塗装作業を完了して下さい。

※ご使用前に必ず下記の「塗装アドバイス」と裏面の「お取り扱いアドバイス」をお読み下さい。また必ず試し塗りをしてからご使用下さい。

塗装アドバイス

- ・きれいな仕上がりには素地調整と研磨工程が必要です。
 - ・さらに光沢や耐久性等を求められる場合は、4回塗りをお勧めします。「4.中塗り」乾燥後、「3.研磨4.中塗り」を再度くり返して下さい。
 - ・カウンターおよびテーブルトップ用として充分な性能を発揮するには、塗膜乾燥後に1週間程度の養生期間が必要です。
 - ・上記乾燥時間は目安であり、気温・湿度等により変化します。
 - ・上記塗布量目安は、平面塗装を想定した数値です。立面塗装の場合は上記数値より若干少なくなります。
 - ・着色塗装仕上げの場合は、アクレックスNo.3000ポアーステインで着色を行ってから、**アクレックスカウンター用2液**を塗装して下さい。

塗膜性能

溶剤系2液ウレタンに匹敵する強靭な塗膜！

お取り扱いアドバイス

アクレックスは環境対応型の高性能水系塗料です。
より安全・快適にお使いいただくために、
下記の内容をよく読んでからお使い下さい。

- ・使用前に容器をよく振って中身を均一にして下さい。
- ・主剤に専用硬化剤を添加し（主剤：専用硬化剤=10：1重量比）、よく振って均一に混ぜ合せた後、15分程度放置して泡を抜いてから塗装作業を行って下さい。
- ・主剤と専用硬化剤混合後の使用可能時間は約3時間（20°C）です。必ず可使時間内に塗装作業を完了して下さい。
- ・原則として原液で使用して下さい。塗りにくい場合は、主剤と専用硬化剤混合済み塗料を100に対し5%を限度として水で希釈して使用して下さい。
- ・塗装用具にはハケ・スムーサー・コテ刷毛等を使用して下さい。泡残りには充分注意して下さい。／気温5°C以下や、多湿時の塗装は避けて下さい。乾燥時間が極端に遅れたり、仕上りや塗膜性能をそこなう場合があります。
- ・本品は水系塗料なので低温時には凍結します。解凍すれば問題なく使用できますが、できるだけ凍結させないようご注意ください。
- ・使用後の用具は塗料が乾く前に石鹼水でよく洗い、水でゆすいで下さい。
- ・使用方法については、『専用硬化剤』のラベルも必ず読んで下さい。
- ・換気の良い場所でのみ使用し、ミスト・蒸気・研磨粉等を吸入しないで下さい。塗膜乾燥後も換気を充分に行い、引渡して下さい。
- ・飲食または喫煙をしながら、この製品を扱わないで下さい。
- ・必要に応じて個人用保護具（保護手袋および保護眼鏡・保護マスク等）を着用して下さい。
- ・取扱い後は手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・火災の場合には、消火に炭酸ガス・泡・粉末消火器を使用して下さい。

- ・眼に入った場合は直ちに水で注意深く洗い、また誤って飲み込んだ場合も医師の診断・手当を受けて下さい。
- ・皮膚または衣服に付着した場合は直ちに多量の水と石鹼等で洗い、汚染された衣服は新しい物に取り替えて下さい。
- ・気分が悪くなったり皮膚刺激等異常を生じた場合や、暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断・手当を受けて下さい。
- ・容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後に処理して下さい。
- ・密栓し、子供の手の届かない一定の場所を定めて保管して下さい。
- ・気温0°C以下の保管は避け、凍結させないで下さい。

専用硬化剤特記内容

- カウンター用2液の専用硬化剤は「第4類第3石油類」の危険物となりますので、消防法に従い取扱って下さい。
- 専用硬化剤は空気中の湿気と反応して増粘しますので、使用分だけを取り出し、直ちに密栓して下さい。
- 取扱い作業所には局所排気装置を設けて下さい。
- 熱・火花・裸火等の着火源から遠ざけて下さい。一禁煙。
- 容器を密閉し環境への放出を避けて下さい。
- 容器および受器を接地するなど、静電気放電に対する予防措置を講じて下さい。
- 火花を発しない工具を使用して下さい。
- 塗装中・乾燥中も換気を良くして、ミスト・蒸気・研磨粉等を吸入しないで下さい。

本カタログに記載している、製品の塗布量・乾燥時間または印刷による色見本は目安です。／木材塗装は素材の状態や気温・温度により、塗布量・乾燥時間・吸い込み・艶・発色などが変わります。本塗装を行う前に、必ず試し塗をして下さい。／本カタログに記載している商品の詳細なデータは、弊社お客様センターもしくは最寄りの事業所までご連絡のうえ、お求め下さる様お願い致します。／本カタログに記載している内容は、2012.1月時点のデータに基づいています。また、製品の仕様につきましては予告なく変更する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

アクレックスのコンセプト

年々深刻化するオゾン層の破壊・酸性雨・光化学スモッグなどの地球環境汚染問題。

また、揮発性有機化合物（VOC）による室内空気汚染が原因の

シックハウス症候群、化学物質過敏症などの増加も社会問題となっています。

アクレックスはこれらの問題に対する改善策のひとつとして、

和信が提案する【環境対応型水系塗料】のファミリーネームです。



和信  水系塗料で暮らしの安全に貢献する
和信化学工業株式会社

ホームページ <http://www.washin-chemical.co.jp/> お問合せ info@washin-chemical.co.jp



木工塗料事業部 〒529-1608
滋賀県蒲生郡日野町大字大谷341-7
日野工場 TEL 0748-53-1936 FAX 0748-53-1941

北海道事業所 / 011-372-3010 東日本事業所 第3課:長野 / 0265-82-5622
東日本事業所 第1課:茨城 / 0294-70-3211 西日本事業所 / 0748-53-1929
東日本事業所 第2課:静岡 / 054-365-3157 九州事業所 / 0942-89-5580

2012.08.00000